

保護者 様

さいたま市立浦和大里小学校
校長 中野 緑

令和7年度 さいたま市立浦和大里小学校 学校評価【概要版】

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
2学期に実施いたしました「学校評価」につきまして、結果を報告させていただきます。
なお、こちらは概要版となっております。詳細な結果についても、併せてご覧ください。

1 教育目標・経営方針・重点スローガンに関して

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえば そう思わない D そう思わない E わからない

		A	B	C	D	E
児童	先生は、あなたのがんばったことや よいところをほめたり励ましたりしてくれますか。	61.7	32.0	5.1	1.2	
保護者	学校は、子どものよさを見つけ、伸ばそうとしていると思いますか。	53.2	40.5	2.5	0.4	3.5
教職員	「努力を認め・励ます」教育の実現に向けて、校務分掌を生かして取り組んでいる。	69.2	30.8	0.0	0.0	

○今年度の学校経営方針において、「努力を認め・励ます」教育の実現を目指して教育活動を実践した結果、児童・保護者・教職員のいずれにおいても「A そう思う」の回答が大幅に向上しました。成功のなぜを問い、失敗の次を聞く指導を継続し、一人ひとりの自己肯定感が高まってきたことの現れと捉えています。一方で、先生に認められたり、褒められたりしていないと回答している児童・保護者がいることも課題です。今後も、児童が活躍する様々な場面で児童のよさや頑張りや保護者と共有し、積極的に認め、励ます声掛けを徹底するとともに、一人ひとりの自己肯定感や「チャレンジする気持ち」を高める教育活動を展開していきます。

2 児童の学習・生活に関して

(1) 児童の主体的な学習

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえば そう思わない D そう思わない E わからない

		A	B	C	D	E
児童	課題や学習の仕方などを自分で決めて取り組んでいますか。	44.1	43.2	11.6	1.0	
保護者	学校は、授業や係活動などで、「自分で決める」活動を取り入れている。	56.5	38.6	1.0	0.2	3.7
教職員	授業では、学習課題や学習方法など、「自分で決める」活動を取り入れている。	39.5	60.5	0.0	0.0	

○「自分で決めて取り組む」の児童の肯定的な回答が昨年度よりも上がりました。これからの社会を生き抜いていくためには、自分の考えを様々な方法を用いて発信し、自ら調整しながら主体的に学ぶ力を高めていくことが不可欠です。学校では、「学び方や学ぶ内容を自分で選んで取り組む授業」を意図的に取り入れ、「自分で考え、自分で決める」活動の充実を図っていきます。また、「個別最適な学び」のさらなる充実を目指し、児童が学習の計画を立てたり、振り返ったりする時間の確保や、付けたい力の明確化と学びを生かす教育課程の研究を行っていきます。

(2) ICT 機器の活用

		A	B	C	D	E
児童	タブレットを使って学習することができていますか。	69.6	25.0	4.6	0.7	
保護者	授業では、効果的にICT機器を活用している。	39.8	48.0	5.1	0.6	6.4
教職員	授業では、効果的にICT機器を活用している。	47.4	39.5	10.5	2.6	

○タブレットの活用方法は、「授業で使ってみる」から、一人ひとりに合った学習をするため、友達と一緒に考えを共有したり学びを深めたりするために「効果的に活用する」へと移行してきました。今後、新しく配備されるiPadを活用し、個別最適で協働的な学びを充実する授業の実践と、学び方の指導の研究をし、教職員も指導力向上に努めていきます。

(3) 地域とともにある学校

		A	B	C	D	E
児童	地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか。	51.2	37.1	8.6	3.2	
保護者	学校は、地域の方々と連携したり、地域の教育資源を活用したり、学校公開をしたりするなど、社会に開かれた教育活動を展開している。	62.4	35.3	0.4	0.6	1.2
教職員	地域の人的・物的な教育資源を積極的によりよい授業づくりに活用している。	25.6	59.0	15.4	0.0	

○地域の方々と関わる機会を、総合的な学習の時間や生活科、児童会など、教育課程の中に取り入れて活動を行ってきた結果、児童の肯定的な回答が昨年度よりも大幅に上がりました。今年度は、代表委員会児童の考案により、地域の皆さんと一緒にあいさつ運動を行うこともできました。今後も、地域の方々との関わりを大切に、児童のアイデアや、やってみようという意欲を後押ししていきます。

(4) 学校のきまり、児童によるあいさつ・返事

		A	B	C	D	E
児童	学校のきまりをまもっていますか。	61.8	34.8	2.2	1.1	
保護者	学校は、ルールやマナーについての指導を適切に行っている。	47.2	48.0	1.0	0.8	2.9
児童	「おはよう」「ありがとう」などのあいさつや返事をしていますか。	71.9	22.4	4.6	1.1	
保護者	学校は、「おはよう」「ありがとう」などのあいさつの指導を適切に行っている。	57.5	36.1	1.4	0.8	4.1
教職員	全教職員の共通理解・共通行動で、生徒指導に取り組んでいる。(挨拶・名札・廊下歩行など)	71.8	28.2	0.0	0.0	

○どの項目についても、肯定的な回答が9割以上になっている一方で、「A と思う」については、児童と保護者で意識に差があります。特に、登下校中のマナーや放課後の公園などでの遊び方については、児童はきまりを守っていると回答している反面、友達同士のトラブルや課題が多く残りました。「学校のきまり」を守る意味について繰り返し伝えていくとともに、登下校については、PTAとも連携を図りながら指導をしてまいります。

3 その他（ご意見をもとに改善した内容）

- ・欠席連絡フォームの回答を保存できるようにしました。
- ・土日に校庭で遊べる日を学校だよりの行事予定に掲載するようにしました。
- ・令和8年度は、気温等を鑑み、音楽会を5月、水泳学習を7月と9月に変更しました。

※他のご意見についても、現在、改善に向けて検討中です。たくさんのご意見をありがとうございました。